

連携・協働のカ・タ・チ

令和2年1月29日発行 福島県教育庁会津教育事務所



公民館と学校の連携・協働関係づくり

～「地域と学校の連携・協働研修会」の開催～

柳津町教育委員会（柳津町中央公民館）

柳津町教育委員会（柳津町中央公民館）は、地域や公民館と学校の連携・協働関係づくりを進めるために、「地域と学校の連携・協働研修会」を令和2年1月に、柳津町中央公民館で開催しました。研修会の内容と参加者は、次のとおりです。

研修内容

〈講義〉「社会に開かれた教育課程」の実現と地域と学校の連携・協働の取組
（講師）会津教育事務所 主任社会教育主事
〈熟議〉「学校を元気に！ 柳津を元気に！ するために学校教育と社会教育ができること ～つながる仕組みづくりと協働活動の可能性～」

参加者

- 各小中学校の地域連携担当教職員
- 各小中学校PTA会長
- 学校支援コーディネーター
- 教育委員会教育長
- 中央公民館長
- 教育委員会職員（社会教育担当・学校教育担当）



【小グループ編成によるワークショップで「熟議」を行う参加者の皆さん】



柳津町中央公民館
ご担当の方のお話

子どもたちの健やかな成長のためには、学校と地域が連携して関わっていかねばなりません。まずは、多くの地域住民が子どもたちの成長を支える活動に参画するための基盤を整備することが大切と感じていました。各学校の地域連携担当教職員、地域コーディネーター、学校教育・社会教育担当等の横断的なネットワークにより、相互の課題等を共有し、そこから新たな発想が生まれてくるものと感じています。まだ船出したばかりですが、当町の豊かな自然、文化等、地域資源の活用を図るとともに、地域の方々にお世話になりながら、郷土を愛し、誇りを持てる子どもたちを育てていけるよう努めていきたいと思っております。



この実践から学ぶポイント！

地域と学校の連携・協働を進めるためには、まず地域、保護者と学校とが顔を合わせ、互いを理解し合い、連携・協働への意識を強くしていくことが必要です。そのために有効なのが「熟議」です。柳津町の研修会では、教育行政担当者、保護者、教職員が集まり、「熟議」（ワークショップ）を行いました。本研修会は、そこから生まれた関係性を大切に、出されたアイデアや意見を実現していくきっかけづくりとして、とても有意義な機会となりました。